

# 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成26年11月7日(金) 公開授業Ⅱ  
対 象 1年1組 男16名、女18名 計34名  
指導者 関 真 美

1 単元名 くらべてよもう 「じどう車くらべ」

## 2 単元の目標

第1学年の目標 (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。
--

- (1) 事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことができる。
- (2) 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。

## 3 単元の評価規準

観点	B：おおむね満足できる
国語への 関心・意欲・態度	自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとしている。
読む能力	自動車の仕事を述べた後に、その造りを説明するといった文章の構成上の順序に気をつけながら読んでいる。(イ) 文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。(エ)
言語についての 知識・理解・技能	片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(ウ (ア))

## 4 単元について

### (1) 児童について

児童は、これまでに「くちばし」と「みいつけた」で写真や挿絵を手がかりにして説明文の基本的な型である「問い」と「答え」の文型を学習し、文と絵や写真を照応させながら書いてある大体の内容を読み取ることを学習してきた。しかし、語彙や生活経験の不足から、文章の内容理解に個人差が見られる。また、自分の言葉で表現することを苦手とする児童や、相手に自分の考えを伝えることが苦手な児童もいる。そこで、本単元では自分の考えをもち表現するために、サイドラインを引く活動やインタビューごっこのペア活動、学習のまとめにおける書く活動を行い、学習を展開することとする。

### (2) 教材について

本教材は、この時期の児童に身近な「自動車」を取り上げた説明文である。「話題・問題提起→問題に対する説明」を自動車の「仕事」と「造り」という二つの事柄の因果関係で述べている。

4つのまとまりからなり、第1のまとまりが話題と問題提示、第2から第4のまとまりが問題に対する説明である。「どんなしごとをしていますか。」「そのために、どんなつくりになっていますか。」という2つの問いに対応した二段落の明確な文章構成である。また、接続語「そのために」が、「仕事」と「造り」をつなぐ役割を果たしている。さらに、3種類の自動車について「仕事」と「造り」が同じ順序で繰り返し説明されているため、それらの因果関係に気づき、身近な自動車に対する新たな見方ができると考える。本教材は、児童に説明文を読む楽しさを味わわせることができるとともに、自分で調べたり表現したりする学習活動に適していると考えられる。

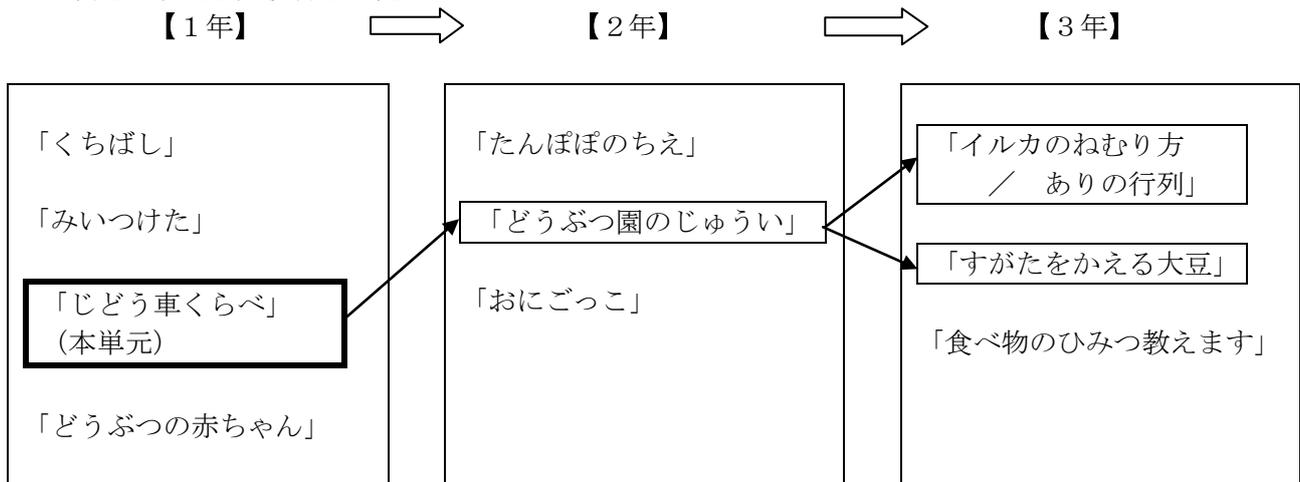
### (3) 指導について

本単元では、「どのように文章を構成しているかという順序を考えて、文章の大体を理解する力」を身につけるため、『じどう車の しごととつくりをみつけて、つたえよう』という言語活動を位置

づける。自動車カードには、選んだ自動車の挿絵とともに自動車の名前と説明を書く。説明は、教材文を参考に、仕事と造りについて書くこととする。このことにより、事柄の順序や説明の観点に気をつけて読むことができるようになる。と考える。

本研究の視点1「場のつながり」に関わっては、最後まではっきりと自分の考えを伝えられるように学習を進めていきたい。視点2「教材のつながり」に関わっては、これまでの「くちばし」と「みいつけた」で写真や挿絵を手がかりにして説明文の基本的な型である「問い」と「答え」の文型を学習したことを生かし、文と絵を照応させながら書いてある大体的内容を読み取らせていきたい。視点3「ひとのつながり」に関わっては、インタビューごっこのペア活動や、作成した自動車カードの紹介をする際に、お互いの考えを交流し合えるように指導したい。

## 5 単元の系統と他教科との関連



## 6 単元の指導計画（13時間扱い）

- |   |         |
|---|---------|
| (1) 単元の見通しをもつ。  | 2時間     |
| (2) 第1のまとまりを読み、問題提起文をとらえる。  | 1時間     |
| (3) バスや乗用車の「仕事」と「造り」について読み取る。                                       | 1時間     |
| (4) トラックの「仕事」と「造り」について読み取る。   | 1時間（本時） |
| (5) クレーン車の「仕事」と「造り」について読み取る。  | 1時間     |
| (6) はしご車の「仕事」と「造り」を調べ、前時までの文体を想起しながら、はしご車の「仕事」に関連した「造り」の特徴、目的を話し合う。 | 1時間     |
| (7) 自分の好きなはたらく自動車のカードを作るために、学級文庫や図書室で自動車の本を探して読む。                   | 2時間     |
| (8) 好きなはたらく自動車を選び、「仕事」と「造り」を読み取る。                                   | 1時間     |
| (9) はたらく自動車の「仕事」と「造り」をカードにまとめる。                                     | 2時間     |
| (10) 自分の作った自動車カードを紹介し、「仕事」と「造り」を表した文章と感想を交流し合う。                     | 1時間     |

## 7 本時について

### (1) 目標

トラックの「仕事」と「造り」を読み取ることができる。＜読む能力＞

### (2) 「自分の考えをもつ<sup>自</sup>」「互いの考えを交流する<sup>交</sup>」「互いの考えのよさに気づく<sup>気</sup>」場面

「自分の考えをもつ」場面は、トラックの仕事と造りを本文から探しサイドラインを引く場面である。

「互いの考えを交流する」場面は、タイヤがたくさんついている理由を考えて発表し合う場面である。

「互いの考えのよさに気づく」場面は、インタビューごっこをする場面である。

(3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点 ●評価の観点(方法)
導入 5分	1 本時の学習の見通しをもつ。 2 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">トラックの、しごととつくりを みつけよう。</div> 3 本時の学習範囲を音読する。		○指導上の留意点 ●評価の観点(方法) ○前時の学習の、バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を確認し、本時の学習の見通しをもたせる。 ○トラックの絵を掲示し、バスや乗用車と違うところを話し合い、トラックの「しごと」と「つくり」を読み取っていこうとする意欲を高める。 ○指名読の後、一斉読して学習範囲を確認する。
展開 35分	4 課題を解決する。 (1) トラックの「しごと」を読み取る。 ・「しごと」が書いてある文にサイドラインを引く。 (2) トラックの「つくり」を読み取る。 ・「つくり」が書いてある文にサイドラインを引く。 5 トラックの「つくり」について、考えを交流する。 ・「タイヤがたくさん」についている理由について、全体で交流する。 6 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">しごと にもつをはこぶしごと つくり ひろいにだい タイヤがたくさん</div> ・「しごと」と「つくり」の内容を振り返り、全文音読をする。 7 インタビューごっこをする。	自  自  交  気	○「～しごとをしています」に着目させる。 ○「しごと」が書いてある文にサイドラインを引くことができたか、確認する。 ○バスや乗用車との「つくり」の違いに気づかせ、自分の考えをもたせる。「そのために」に着目させる。 ○「つくり」が書いてある文にサイドラインを引くことができたか、確認する。 ○挿絵を見ながら文と対応していくことで、言葉の意味を理解させイメージを膨らませる。 ○「うんてんせき」「にだい」はどこか。 ○「おもいにもつ」の意味を確かめる。 ○「タイヤがたくさん」について、挿絵や具体物を通して言葉の意味を理解させ、イメージを膨らませるようにさせる。 ○本時の学習内容を、着目させたい文や語句を通して振り返らせ、ワークシートに書き抜いた後、全文音読させる。 ●「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートに書き抜くことができたか。 (ワークシート) ○隣同士でトラック役、インタビュー役を決め、学んだ内容を生かし、はっきりした話し方でインタビューごっこに取り組みさせる。 ○代表のペアに、発表させる。
終末 5分	8 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 ・トラックの「しごと」と「つくり」が分かった。 ・トラックは、荷物を運ぶ仕事をしていることが分かった。 ・そのために、広い荷台になっていて、タイヤがたくさんについていることが分かった。		○内容理解と意欲面の2点について記号で自己評価させ、挙手させる。 ○分かったことを発表させる。 ○次の時間は、クレーン車の「しごと」と「つくり」について学習することを確認する。

(4) 板書計画

じどう車くらぶ

トラックの、しごととつくりをみつけよう。

(トラックの挿絵)

(教材文の拡大コピー)

しごと

に  
も  
つ  
を  
は  
こ  
ぶ  
し  
ご  
と

を  
し  
て  
い  
ま  
す。

そのために

つくり

うんてんせきのほかは、

① ひろい  
に  
だ  
い

に  
な  
っ  
て  
い  
ま  
す。

おもいにもつをのせる  
トラックには、

② タイヤ  
が  
た  
く  
さ  
ん

つ  
い  
て  
い  
ま  
す。